



信田みつやす した光保県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

銚子漁港 黒生地区マイナス7.5m岸壁 今年3月本格運用開始!



一般質問に登壇し、銚子の漁業・水産業の振興を要望する信田県議

大型巻き網漁船にも対応

で、伺います。銚子漁港の新たな長期計画では、どのような整備を行っていくのか。

森田知事 銚子漁港は、生産と流通の拠点となる重要な漁港であり、引き続きその役割を十分果たせるよう、機能強化を進める必要があります。

現行計画の整備目標としてきた大型巻き網船対応のマイナス7.5メートル岸壁を、今年度末での本格運用とした現在、競争力強化に向けた更なる取り組みとして、漁船の大型化、静穏度の確保及び食の安全性の向上など、ニーズに対応した新規計画を策定しているところです。

銚子市選出で、県政の中堅議員として発言力を増す信田光保(した・みつやす)県議は、昨年12月県議会の一般質問に登壇し、水揚げ量日本の銚子漁港の更なる活性化について、熱く語りました。信田県議は、銚子漁港黒生地区で進められているマイナス7.5メートルの岸壁整備が、いよいよ今年3月には本格運用が始まったことなどから、県に対し、関連して水産物の輸出拡大などを強く要望しました。12月議会の農林水産常任委員会での質疑を含めて、銚子漁港を中心とした「水産特集」をご報告します。(本文記載の年月日については昨年12月議会時点での質問です)

信田議員 5年連続水揚げ量日本一を誇る銚子漁港は、沿岸、沖合、遠洋漁業の拠点として、水産物の水揚げ、流通、貯蔵、加工までの一貫した総合漁業基地であり、我が国の水産物の基地として、これからも重要な役割を果たしていか

なければなりません。また、銚子漁港黒生地区では、マイナス7.5メートルの岸壁の整備が進められており、いよいよ来年の3月までには各施設が整い、300トン級の大型巻き網漁船による水揚げが始められることとなります。そこ



300トン級大型巻き網漁船対応の岸壁 (信田県議は左から3人目)

具体的には、大型船対応岸壁の増設や、風向きに関係なく出漁できる2港口化による水揚げ量の増加、及び高度衛生管理による水産物のさらなるブランド化を図ることとしており、平成30年度からの事業化に向けて国と調整してまいります。

浚渫土の有効利用を!

信田議員 県内の漁港において、漁港整備や航路の安全確保には、土砂の浚渫事業は欠かせません。現在県では、浚渫土を沖合に投入していますが、ロンドン条約により、年々海洋投入は難しい時を迎え、浚渫土の有効活用は喫緊の課題です。

農林水産部長 漁港では、船舶の安全な航行のため、毎年浚渫を実施しており、発生する土砂については、これまで海岸の養浜や、海岸防の築造などに活用してきました。しかし、これらの需要の減少により、気象条件の制約を受けやすい海洋投入の割合が増加し、整備の進捗が遅れる原因ともなっています。

県内の大手製鉄所が、鉄鋼スラグと浚渫土を混合改良した、カルシア改良土、カルシア人工石を用いた消波工設置について、県へ提案があったと聞いています。少ない予算で最大の効果が得られる可能性のある事業に、地元漁港も大変期待していると



浚渫土の有効活用を県へ提言

●県政や銚子市のご相談をお気軽にお寄せください...

した光保事務所 TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816 〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F

水産特集

銚子つりきんめなど 高級魚の輸出促進訴え

県の積極的な支援を要望

輸出への取り組み

信田議員 次に県産水産物の輸出の取り組みについて伺います。県は、平成27年7月、事業者が戦略的、効率的に輸出を進める上での指針として、千葉県産農林水産物輸出促進ガイドラインを作成し、さまざまな事業を展開してきました。

特に、東南アジアを中心に直接現地に赴き、各種フェアの開催や商談会なども実施してきました。平成27年の本県の輸出の実績を見ると、農林水産物を合わせた金額は114億円を超えています。

そのうち、約90億円は水産物、水産加工品が占めています。

森田知事 人口減少や消費者の嗜好の変化により、国内の水産物の需要が減少する中、本県水産物の振興を図り、漁業者の所得を向上させていくためには、食市場の規模拡大や富裕層の増加などの新しい新興国への水産物の輸出を促進することが重要です。

そこで、本年9月には、タイ王国において、漁業者も参加し、「千葉県産水産物レストランフェア」を開催するとともに、現地バイヤーとの意見交換を行い、きんめダイなどは高い評価を受けるところです。



「銚子つりきんめ」を世界へ輸出

今後は、現地バイヤーと漁協との商談を支援するとともに、地元漁協等と連携し、生

鮮品や加工品など特性にあった販路の開拓等に積極的に取り組んでまいります。

さらに、高級水産物の輸出を図るため、成田空港を有する本県の優位性を活用した航空便による輸出や、最

農林水産常任委員会から

銚子漁港の整備予算拡充を!

信田委員 銚子漁港の次期長期整備計画は、現在策定中ですが、銚子漁港は本県水産業を支えてきた重要な漁港です。

また、銚子市にとつて、地域産業の根幹となる漁港ですので、10年先、20年先を見据え、時代に即した計画づくりに取り組んでいただきたいと願っています。

計画では、平成30年度から10年かけて整備するということですが、1日も早くライバル漁港との競争力を強化していく必要があります。ライバル漁港との競争が激化する中、銚子漁港の整備予算を大幅に拡大すべきと思うがどうか。

漁港課長 銚子漁港は、水揚げ量が本県の3分の2を占める重要な港であり、地元では水産業が主要産業となつていくことから、地域

ダイ等のPRを通じ、銚子の魚がタイで高い評価を受けたと実感しており、今後、銚子つりきんめ等の高級魚等を、成田空港を活用して輸出をしていきたいとの要望を持っているJMSです。

要望

森田知事から答弁 いただいたタイ王国で行われた、県産水産物のレストランフェアですが、銚子市漁協の漁業者はきんめ

次期長期計画へ

信田委員 国で策定を進めている次期長期計画に対して、県ではどのように対応していくのか。

漁港課長 次期長期計画の主な検討の視点としては、「水産物の競争力強化と輸出促進」、「海域の生産力

向上対策」、「漁港・漁村の強化対策」、「漁業地域の活性化対策」の4つについて、国の水産政策審議会により検討が行われているところで、県では、国の新たな計画を踏まえ、今後策定する「千

葉県農林水産業振興計画」に反映させてまいります。

農水産物の輸出拡大を

信田委員 今後、台湾で輸入規制が緩和された際に、速やかに輸出できるように対応しているのか。

流通販売課長 台湾で輸入規制が緩和された場合、できるだけ速やかに輸出できるように、来年3月に台湾から現地の有力なバイヤーを招いて、商談会や現地視察等を行い、その中で、現地のニーズの把握、密接な

関係の構築に努めていきたいと考えているところです。

輸入規制が解除された際には、台北をはじめ台湾の主要都市で、千葉県フェアを開催して、今後とも積極的に輸出拡大に今後とも積極的に取り組んでまいります。

輸出品目を絞って、バイヤーの意見を聞いた中で取り組んでいくのが一番の早道ではないか。



平成28年12月議会一般質問など登場